

自ら学び 豊かな心で たくましく生きる生徒

しただの郷学園
下田中学校便り第11号
令和5年3月23日発行



文責 校長 小林貴英

ホームページではカラー
でご覧いただけます。→



いざ行こう！ 第37回卒業証書授与式

卒業生入場！ マスクを外して入場する卒業生。ようやくマスクを取ることができたことを嬉しく思うと同時に、悔しい3年間をよくぞ耐え抜いたという思いで涙が出てきました。

これまでの多くの支えに対する感謝の気持ちを忘れず、多くの困難を乗り越えてきた自分の強さに自信をもち、明るい自分の未来を思い描いて歩んでほしいと思っています。体育祭で掲げたスローガン「**逆境こそ Enjoy**」はきっと卒業生に力を与えてくれるはずです。

卒業生の多くが、4月から、下田の外に朝、出て行き、夕方に戻ってくる生活です。これまで下田で育ち、これからは少しずつ下田から離れていきます。将来は、しばらく下田に戻ってこない人もいるでしょう。しかし、たとえ下田から離れても、下田に育った人にとっての心の拠り所はずっと下田です。軸足を下田に据え、各地で活躍することを願っています。活躍する場が広げ、あちこちで**下田について語ってほしい**ものです。それぞれの夢を叶え、いつか笑顔で帰ってきてくれることを望んでいます。



卒業証書を抱えて退場

年度末です。あのとき掲げた目標はどうなっていますか。

1学年教室廊下にある談話コーナーの掲示板に、2つの大きい模造紙があります。そこには、1年生全員の願い事が書いて貼ってあります。1枚目の“星に願いを”には、「健康でありますように」「試合に出られますように」など、2枚目の“サンタへのお願い”には、「〇〇が欲しい」「サンタをナマで見たい」などと書いてあります。願いはかなったでしょうか。

七夕やクリスマスの願い事をすると同様に、新年、学年が始まる4月、あるいは各学期の始めといった節目に、私たちは目標を掲げてその実現を願ったり、実現のために努力したりします。生徒も先生も今年度1年間で、たくさんの目標を掲げました。今振り返ってみてそれらは実現できたでしょうか。実現に近づいているでしょうか。実現のための努力は積み重ねてきましたか。まさか目標そのものを忘れてはいませんか。

実は私、自分で掲げた目標を忘れていました。目標を掲げたあの当時、その達成のためにやるべきことをいくつも考え、そして実践してきました。ただ、やり残したことが何かを思い出せません。そして目標に近づいたかどうか、目標を忘れてしまった今となっては判定不可能です。

私はスケジュール帳を何年も使っています。そこには様々な予定が書いてあります。忘れてはならない大切なことだから書いています。あれ？目標も大切なことなのになぜ書かなかったのだろう。今頃になってこんな基本的なことを実行していなかったことに気が付きました。反省です。

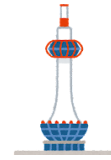
もうすぐ4月。新しい手帳を使い始める予定です。新年度の目標とその実現のための方法を書くことを忘れないようにします。それが現在の目標です。

目標達成！

目標を書き、見えるようにしておくことで実現に近づく



関西方面修学旅行



3回続いた先輩たちの県内修学旅行でしたが、今回はついに当初の予定通り関西方面の旅行が実現しました。天候に恵まれ、体調不良になる生徒もおらず、最高の修学旅行となりました。



京都駅



清水寺 音羽の滝



ユニバーサルスタジオジャパン



清水寺

修学旅行を終えた学年は、集団宿泊の経験から大きく成長します。実際に今回の旅行では、周囲への心配りの姿が随所に見られ、全日程を通して皆が良い気持ちでいる状態が続きました。最高学年としての自覚が芽生えてきました。4月からは自分の学年づくりに留まらず、**学校づくりの中心的役割**を担います。大いに期待します。

留守番役の1年生は、学校をしっかりと守りました。朝のあいさつ運動には学年の半数以上の生徒が玄関前に立ち、大きくて気持ちのいいあいさつをしていました。この**元気でさわやかな姿**を、新入生に見せてあげましょう。

来年度の下田中が目指す姿



保護者、地域の皆様、今年度も下田中学校は皆様からの御理解と御協力により 37年の伝統を引き継ぐことができました。感染症禍で活動が制限された中でも、生徒たちは生き生きと活動し自己の成長と集団の高まりを遂げてきました。更なる飛躍に向けてやるべきことはたくさんありますが、それが何なのかを生徒自身が見つけ出していけるように、教職員が支援していきます。「先生の言うとおりにすればいい」からの脱却です。「私たちはこれをしたい。下田中にはこれが**必要だ**と思います。先生、一緒に考えましょう」こんな風に自ら動き出す個や集団を目指します。「現状維持」に満足せず、「発展」に向けて挑戦します。